

反社会的勢力に対する基本方針について

EPG は、「圧力・暴力に屈しない、毅然とした態度で応対する」といった心構え、「社会道義に反する団体などとは取引をしない」といったルールや、実際のトラブルにおける個人もしくは組織的対応についてのマニュアル的要素を含む、実践的内容に伴った基本方針を制定しています。

1. EPG の役員・従業員は、反社会的勢力からの不当な要求には毅然な態度で臨み、どんな暴力や嫌がらせにも屈せず、金品の供与やその他不当な要求に臆することなく、断固として応じないものとします。
2. EPG は、反社会的勢力からの不当要求・介入・取引等の申し出に対しては、警察・弁護士等の外部専門機関と連携し、民事・刑事の両面から法的措置を講じるなど、組織として毅然かつ適切に対応いたします。
3. EPG の役員・従業員は、反社会的勢力に関して、社会道徳上、その後の因縁やトラブルを避けるために、正当な取引であっても紹介料や手数料、謝礼金を含むすべての対価を支払うような契約、もしくはあらゆる商品の納入やサービスの提供、代理店契約およびその他の契約は行わないものといたします。仮に、間に正当な会社が仲介に入り、反社会的団体などと当社が直接取引しなかったとしても、その取引で得た、仲介者（仲介業者）の利益が反社会的団体などに回ることを察知した場合には、いかなる場合でも取引を行わないものとします。
4. EPG の役員・従業員は、反社会的勢力と当社の従業員が、取引やなんらかの親交や何らかの関係性が確認された場合には、いかなる理由があっても厳重な処分や対応を従業員に対し行うものとします。
また、EPG の従業員は、そのような情報を他の従業員が察知した場合は、速やかに、人事部へ申告することが義務であると心得、行動していくものといたします。